

平成26年度　てつなぎ工房　事業計画（案）

1. 方針

障がいの方々の地域生活を支える上で、働きやすい環境を整備していく。また、一人ひとりのライフステージを本人や保護者とともに描き、実現に向けて支援していく。
てつなぎ工房の作業・自己決定を尊重した上で、安易な保護や管理とならないよう細心の注意を払い、質の良いサービスを追求し、提供していく。
今年度は昨年と同様、様々な企画を行い、「作業」「余暇」とともに変化のある1年にしていく。また、家庭での様子や変化を知る為にも、家庭訪問を実施し、積極的に家族とかかわり、情報の共有や信頼関係づくりに力を入れていく。

2. 取り組み

(1) 一般就労が困難な利用者の方に対して、生きがいを感じられるような労働の場を提供する。また、一般就労に備えた準備をしていく。

- ・個人の能力にあった（活かせる）作業の提供
- ・地域の中で豊かに生活ができる為の工賃支給
- ・作業の中で、一般就労に向けた基礎体力作り

(2) 作業の充実化を図る。

- ・工賃向上のためにも新規の作業を開拓し、それに向けて具体的に計画を立て、利用者の労力の幅を広げていく。
- ・利用者主体の作業体系の見直し
(それぞれの作業の中で責任を持ち、取り組める工程の見極め)
- ・現行作業の内容や仕組みの見直し、拡大
 - ・便利屋～作業料金の見直し、接客マナーの向上
 - ・椎茸～栽培管理の見直し、改善
 - ・販売～パン仕入れ先の変更、接客マナーの向上、
 - ・各々の作業レベルアップ
 - ・更なる技術の向上や作業に必要なテクニックを身につけていく。
- ・地域の需要に合った作業種の模索・開拓
 - ・弟子届には無いものにてつなぎ工房から発信していく

(3) 利用者への生活全般の支援

- ・利用者のアセスメントを行い、個別支援計画の策定会議を設け作成し、それに沿った支援を進めていく。
- ・利用者の健康状態の把握。血圧測定をや体重の調整などを行い、症状の軽減に努めていく。（服薬の管理、通院時の状態報告書の作成）
また、医療機関、役場等の関係機関との連携がうまくとれるようネットワークを築いていく。

(4) 環境の調整

- ・身体面、精神面でなかなか就労に携わることができない利用者が、就労する方と同じ場で活動することに対して、精神的苦痛やストレスを与えないよう、環境作りに努めていく。

(5) 余暇活動「レクリエーションたいむ」

昨年度と同様に余暇活動を取り入れていく。活動内容は、利用者の方々から希望を募り、実施していく。毎月隔週の金曜日の午後からを「レクリエーションたいむ」と名付け、活動を行う。

例：カラオケ、映画鑑賞、ドライブ、買い物、パソコンの使い方講習など。

平成25年度実績：カラオケ、料理、ドライブ、散歩、卓球、
フットベースボール、映画鑑賞など。

(6) 心豊かな生活環境づくり～芸術鑑賞～

外部より個人・団体の方を招き、コンサート等を開催する。
作業から離れ、心身のリフレッシュを目的とする。

(6) 保護者・家族とのつながり

- ・報告・連絡を密に行い、連携を取りながら問題等の解決に対応する。
- ・家庭訪問などを通じ、情報交換を図っていく。

(7) 地域社会とのつながり

- ・便利屋、古紙回収、
- ・移動販売などで地域社会に貢献するとともに、当たり前の社会参加を目指す。
- ・積極的にイベントへ参加し、てつなぎ工房をより多くの方々に知っていただく。
- ・てつなぎ工房独自のイベントを開催し、地域の方々との交流の場を設ける。
- ・近隣の清掃活動を定期的に行い、環境整備に努める。

(8) 調査・研究・実践

- ・障がい者は地域社会で生きていく中で生活の質を高めるにはどういった手立てが必要なのかを常に考え、検討を重ねながら、実践していく。

(9) 利用者自治会活動

- ・利用者が主体となり、環境づくりや行事を企画していく。
自ら行動を起こすことにより、それが力・自信へつながる
4月 自治会総会実施、役員選出

3. 雇用支援の推進

(1) 就労に向けた活動

- ・履歴書の書き方の勉強や、利用者とともにハローワーク等へ行き、どのような求人があるのかなど、就労に向けた活動を行う。

(2) 就業場所の自主運営

- ・就労継続支援 B 型でも最低賃金に近い工賃をもらって作業していくよう整備をする。

(3) 職場実習の推進

- ・実習受け入れ企業を把握し、実習先を提示し促進を図っていく。
- ・企業に対し、実習受け入れについて積極的に依頼していく。

4. 年間計画

4月	・利用者自治会総会	10月	・健康診断 ・旅行 ・つるい市場出店
5月	・つるい市場出店	11月	・防災訓練（避難・消火） ・ボウリング大会 ・釧路専門学校 釧専祭出店
6月	・防災訓練（避難・消火） ・フリーマーケット ・つるい市場出店	12月	・クリスマス会 ・忘年会 ・大掃除 ・年末休暇
7月	・夏祭り参加 ・つるい市場出店	1月	・年始休暇 ・新年会
8月	・キャンプ ・お盆休み ・つるい市場出店	2月	・釧路市民防災センター研修
9月	・鶴居村ふるさとまつり出店	3月	・中標津町福祉の つどい出店 ・防災訓練（震災想定） ・おつかれ様会

- ・他団体・市町村・施設等での販売（出店）依頼があった場合は、その都度協議を行い決定する。
- ・家庭訪問は、各家庭と日程調整を行い、進めていく。

平成26年度 行事担当

月	行事	担当者
4月	自治会総会	藤本
5月	大運動会(旧花見)	支倉・藤本
6月	フリーマーケット	道券・山内
7月	夏祭り	三浦・山内
8月	キャンプ	三浦・松田
9月	鶴居村ふるさとまつり	池田
10月	旅行	藤本・支倉
11月	ボウリング大会	道券・池田
12月	クリスマス会 兼 忘年会	池田・支倉
1月	新年会	三浦・阿部
2月	釧路市民防災センター研修	道券・松田
3月	お疲れさま会	池田・藤本

・今年度も、各行事担当に2名ずつ配置しています。

・創意工夫を凝らした企画をお願いします。

※行事草案は、開催日の3週間前までに提出してください。

※利用者及び家族への案内文は開催日の2週間前までに発行してください。

係分担

- ・防災訓練(6月、11月)、防災設備点検の手配・実施 三浦(補助:池田)
- ・車両管理～法人車両一括管理～ 池田
- ・通信発行(2か月に1回発行) 山内
- ・出納職員、利用者自治会 藤本
- ・日用品(トイレットペーパー、ティッシュ、洗剤等)の手配、在庫管理 支倉
- ・利用者自治会 藤本
- ・健康診断(年1回) 道券
- ・レクリエーションたいむ 支倉・山内・道券

清掃区域責任者

- ・トイレ、納戸 山内
- ・厨房、更衣室 支倉
- ・作業室、石鹼作業棟、相談室 道券
- ・便利屋作業棟、物置、休養室 三浦
- ・椎茸ハウス、作業棟 藤本
- ・事務室、玄関、廊下 池田

平成26年度 便利屋事業計画(案)

担当職員 三浦 通

事 業 目 標

- ①顧客獲得の為、営業活動を行う
- ③作業時の安全確認と認識
- ②軽トラック作業、その他作業内容の見直しと改善
- ④2tトラックの運用改善

具 体 内 容	
①	<ul style="list-style-type: none"> ○チラシの内容を見直し、配布を利用者主体で行う。 ○また、新聞回収で新規のお客様に「石鹼」を粗品として渡す。 現存のお客様には年二回に分け石鹼を粗品として渡す。
②	<ul style="list-style-type: none"> ○依頼された予定をスムーズに進める。 ・日程や、職員数で左右されるが便利屋全体での作業効率を上げ、時間 無くす。 また作業内容の充実をはかり、精度の高い仕事を心がける。 ○作業の日時や段取りなどに行き違いが無い様、顧客と連絡を密に取り 迅速な対応が出来る様に心がける。 ○お客様が「満足をする仕事」をする。 ・丁寧な作業を心がける。 また依頼された内容だけではなく、困り事やお願い事を察知し 「利用者と共に」対応を試みる事でお客様と密接になり、リピーターや 今後のサポーターとなって頂ける様な業務としていく。
③	<ul style="list-style-type: none"> ○車両に関わる安全 ・現場では車両が行きかう場合があり、不用意に近づかない様に職員利用者共に 呼びかけ、注意をする。また、やむを得ず近づく際は細心の注意を払うか、職員が行う。 ○作業に関わる安全 ・職員が作業時の安全確認を十分に行い、注意点があれば利用者に伝えたり 作業をして頂く。また危険を及ぼす作業は職員が行う。 ・落下物がある場合や飛散物がある作業は「ヘルメット」「ネット帽」を着用する。 ・利用者一人ひとりが安全確認が出来る様にしていく。 ○軽トラックの活用 ・軽トラックで可能な限りの作業を拡充し、効率よく車両を活用する。
④	<ul style="list-style-type: none"> ○2tトラック作業 ・2tトラック作業では、新聞回収・草刈・畑作業等限定されてしまうが、 その中で出来る作業を見つけ増やしていく。

25年度 収入目標			支 出 予 算 案		
便利屋	月平均/円	年間/月	項目	金額/円	内容・内訳
	130,000	× 12 =		1,560,000	
古紙 回収	18,000	× 18 =	消耗品	30,000	草刈機部品(ワイヤーなど) 除雪機ピン・スズランテープ 他、工具・道具
	合 計		広告費	5,000	便利屋・新聞チラシなど
		1,920,000	修繕費	20,000	機械メンテナンス代
			利用者工賃	930,000	
			合 計	985,000	

新事業として

- ワインケース作り(委託)
・作業に行けない便利屋利用者がワインケース作りを行っている。
- 内職班との連携事業を計画している。

平成26年度 椎茸栽培事業計画(案)

作成者 藤本 繁

椎茸栽培作業の確立化がある程度進み、利用者・職員の栽培・処理能力は向上している。しかし、そこに慢心することなく高品質の椎茸を栽培・生産し、日々の向上に努めていく。また、利用者様一人一人に適した作業内容を見直し、個々の能力を高めていく。

活動方針

- ・作業技術の向上と栽培知識の強化
- ・安心、安全と胸を張って言える椎茸を生産する。
- ・椎茸栽培を通じて一般就労に着ける人を育成していく。

売上目標

¥10,417,000

	収 入	支 出	
収量(kg)			
4月	880	菌床代	¥3,330,000
5月	730	消耗品	¥300,000
6月	680	修繕費	¥100,000
7月	870	通信運搬費	¥480,000
8月	740	水道光熱費	¥1,610,000
9月	700	土地賃借料	¥75,567
10月	900	雑費	¥45,000
11月	800	工賃	¥1,312,000
12月	900		
1月	550		
2月	750		
3月	700		
合 計	9200	合 計	¥7,252,567
	¥10,417,000		

※100g換算の平均をもとに算出。

※平成24年度の概算データで算出。

※暑さ対策として「保冷庫」導入につき夏期の収量減は軽減される見込みである。

また、冬期間の収穫量は更に増やすことが出来ると予想される。

冬期間の燃料費は原油高騰の為、上昇傾向にある。

収 入	支 出	利 益
¥10,417,000	¥7,252,567	¥3,164,433 (平成25年度3月現)

○菌床…一度に仕入れる個数は3,700個。ひと月毎に仕入れ、年6回となる。(一玉 150円)

○工賃… 月平均1,200円×利用者数8名×12か月 + 賞与年二回10,000円づつ
という換算となる。

○収量… 前年度のデータを基に予想算出をしている。

○価格… 価格は100g商品あたりの換算として平均値での計算。冬期間は灯油代が嵩む為、
値上げをしている。
夏価格 …4月～10月
冬価格 …11月～3月

生椎茸	夏価格	冬価格	乾燥椎茸
100g換算 108円	121円		スライス70g 700円 ホール 90g 800円

※各 生椎茸商品の価格は期間変動。 乾燥椎茸は価格変動なし。

◎取り組み

○ハウス管理

・菌床搬入(仕入れ)

厚岸町菌床センターより購入。一度の購入個数3700個。

・椎茸発生方法

その1

菌床は90日培養したのち、除袋を行う。除袋予定日の一週間ほど前に数個試し除袋を行い「芽つき」具合を調べる。それによりハウス内の温度抑制をかけ発生量の調整を図る。抑制を行わないと椎茸が多発してしまったり、奇形の原因ともなる。また、椎茸が大量発生すると「芽かき」と呼ばれる(間引き)作業を行い、奇形の発生を抑えるとともに形のより良い物を生産する事が出来る。菌床のロスを減らし、より良い椎茸を生産するように管理していく。

その2

培養温度は一定の23度に保つ。天気がよい日は季節に関係なく温度が急上昇する為、小まめな温度管理が必要となる。培養ハウス(Aハウス)は基本的に通常23度設定を行う。

発生ハウス(Bハウス)は基本日中23度、夜間13度で管理するが、椎茸の発生により温度を調整する。温度差があると芽が付きやすい。

・温度管理

夏場は短時間でも温度管理を怠ると急激に上昇してしまうので、小まめにチェックする。

25度くらいから、抑制がかかり発生しにくい状態となり、30度より高温になると「菌」が死滅しやすくなる。

温度が高すぎると、椎茸の成長がとても速く、規格外品やスライス品になるものが多くなり質の低下となる。

夏場の温度対策としては、遮光ネットをハウスに被せ直射日光を防ぐ。また入り口にも同様の処置をする。

冬場の温度管理は比較的簡単に思えるが、暖房を炊く為、少しの開閉で熱が逃げコストがかかる。

また、遮光ネットは雪滑りが悪い為、冬期ははずすがその分、直射日光が入り温度調節が難しくなる。

夏場使用していた入口用遮光ネットを直射日光が当たる面の棚にかけ、一時的に遮光し椎茸の変化を防ぐ。

・湿度管理

湿度は発生に必要な要素であり、管理が必要。基本、散水を行い湿度を保つ。

菌床に褐変を促す場合にも湿度が必要であり、棚ごとにビニールシートをかけ保湿を保つ。

栽培には湿度も必要だが、新鮮な酸素も必要であり適宜換気も行う。

・散水

朝・夕の2回行う。夜間の低温時期には結露がおこり水分量が多くなる為、適宜の散水となる。

菌床表面が乾いた状態が続くと「ペニシリウム」という乾燥カビが発生する。また、水分が多すぎると

「トリコデルマ」というカビになる為、散水量は菌床・椎茸の状況を観察しながらの作業となる。

乾燥カビは冬期間、トリコデルマは夏期間に発生しやすい。

・浸水

除袋後の菌床は水分が少くなり散水だけの発生では不十分なので、大きな水槽に入れ水に浸け置く。

また、水温の温度差でも刺激となり発生するため、生産には大切な作業となる。

しかし、菌床は採取後約20間の「休養」を与えなければならない為、棚ごとのローテーションを行う。

・脱気・冷却

椎茸の発生を促す為、「保冷庫」の冷気を活用する。

大半を保冷を使っているが、余ったスペースに菌床を置き、菌床を冷やし温度対策を行う。

冬季間はハウスを開け気温差をつけて刺激を与えて芽を出やすくする。

その他、浸水後の菌床を部分的に外へ出し、気温変化をつけ発生を促す。

・その他

収穫後に地面に落ちた椎茸は回収し廃棄する。また、ハウス内地面の衛生環境に気を配り、害虫などの発生を防ぐ。ハウス内の清掃も定期的に行い、衛生環境の改善をしていく。ハウス開閉を最低限に抑え、冬場の暖房費節約に努める。

◎販路

・(株)福原 釧路本部に出荷し、各店舗に配送。
・Aコープてしかが店・ビックリッキー弟子屈店・給食センター(ビックリッキー仲介)
・道の駅・工房 販売部・ぬくもり弁当・かくふじ商店・蕎麦処 丈の家
・瀬川食品・町内飲食店・個人顧客・各イベント等

○営業活動を行い、顧客の開拓を行っていく。また、現存のお客様には末永い取引をして頂く為、より一層の品質向上と努力を行っていく。
地域との連携をはかり、二次産業化した商品を売り出していく。

◎利用者支援

◆椎茸栽培は農業であり、年中無休で、体力や集中力を要する作業が多く、辛い日々が蓄積されやすく決して楽ではない作業課だが、達成感や使命感は大きいと思われる。そこへの働きかけを主とする。

○一つの作業に対しての負担が少數利用者様に偏りがちな為、作業可能な利用者への分担を行う。
基本的な作業は皆、ほぼ行えるので作業リーダーを決め、その人の指示で作業を進める。
職員はその内容の修正を適宜行いながら必要に応じて支援をしていく。

○椎茸の発生状況を見極めながら、利用者と相談を行い、可能な範囲での作業を行って頂く。
また高齢の方、体の弱い方も居る為、作業の負担をあまりかけないよう心掛ける。

○新しく配属された利用者には、本人に適した対応で説明・支援を行っていく。また、作業指導は現在作業を行っている利用者にも行って頂き、相乗効果を期待する。
※但し、利用者の負担になりすぎないように。

○幅広い年代の方が居る為、話の内容や考え方の違いがあるが否定をさせず「良い刺激」として理解して頂くように支援を行い、悪いストレスを与えない様に配慮する。
また、お互いの話し方、態度に注意を払い見守りを行っていく。

○作業の内容を定期的に確認し、知識の強化や作業の改善を行っていく。
効率の良い作業を進める為、また負担軽減の為、利用者全体での話し合いの時間も作っていく。

○職員との個別に話をする時間を設け(作業内で可能な限り)悩み・希望を聞き改善に向けて行動する。

○時間を作り、余暇を設け「心のゆとり」を持って頂く。また、イベント等の参加も積極的に促す。

○食品を扱う仕事の為、衛生管理に気を付け、必要に応じた支援を行っていく。また体調管理も同様。

○椎茸栽培での経験を活かし、「一般就労」に向けての支援を進めていく。また、希望により実習なども多く取り入れていきたい。

◎その他の取り組み

- ・利用者と共に営業活動を行い、新規開拓を行う。
- ・他施設でのハウス栽培見学を行い、知識向上を図っていく。
- ・保冷庫の有効利用を進め、夏期間の収穫量の安定と、品質保持を高めていく。
- ・ハウスの老朽化により、交換が必要なものが挙げられるが、再度見直しを行い大切に扱い経費を掛けないよう徹底した努力を行っていく。また、皆さんにも呼びかけをしていく。
- ・効率の良い動き方を行うようにし、作業の幅を広げていき余裕を持った作業を目指す。
- ・廃菌床の再活用が出来ないかを模索していく。
- ・独自の洗い場を設ける。

◎作業体系

- ・職員常時 1名
- ・利用者 9名(3月現在)

利用者はシフト表をもとに出勤する。 中 1時間及び15分づつの休憩を行う。
早出(AM7:00 or AM8:00)の時間を設け、効率の良い作業が出来る様に組む。

平成26年度販売部事業計画(案)

担当職員:道券直美

《目標》

- ・つなぎ工房の「顔」としての自覚ある行動をこころがける
- ・協力して作業し成果をあげる喜びを分かち合う

《具体的な施策》

売上向上 のために	①接遇マナーの向上	研修会、ロープレの実施 他事業所の見学
	②商品知識を深める	各作業科の見学 インターネットを利用するなどしての情報収集
	③売り方の工夫	陳列の仕方の研究 POPの作成
	④お客様とのつながりを深める	工房の様子を伝える通信の発行 HPなどの情報発信 利用客からのフィードバック(アンケートなど)
中長期的 視野で	①事務スキルの向上	文字の練習(書き取り、正確な表記) 計算の練習(計算機の取扱い) 帳簿の書き方の練習
	②協力体制の確立	それぞれの役割に敬意を払い、互いに助け合う体制づくり。話し合いの場を多く持つ。

《予算》

	収入		支出
パン売上	1,000,000	パン仕入	600,000
その他売上	100,000	その他仕入	270,000
メ縄売上	100,000	利用者工賃	504,000
道の駅売上	140,000	消耗品	30,000
ぴゅあめいど売上	50,000	車両燃料費	75,000
のんき屋売上	30,000		
各種販売会売上	80,000		
	1,500,000		1,479,000

※椎茸、石けんの売上はそれぞれの作業科より計上する。

※その他の内訳は(つなぎみそ、しょうゆ、つくだに)

※工賃は3人分 時給105円、5時間、週5日、4週、12か月で計算

※車両燃料費は年間5000㍑ガソリン価格150円で計算

《その他》

移動販売で扱うパンは現在川湯ヴィレッジさんにご協力いただいているが、事業見直しに伴い、標準茶の「ひとつぶの麦」さんとの取引開始に向けて現在調整中である。

平成 26 年度食物内職科事業計画 (案)

担当 支倉 忍・山内 友美

【目標】

利用者の体調・精神面に配慮し、安全に作業できる環境を整え
労働意欲の向上を目指す。

作業内容	食物部門	菓子製造
	内職部門	カレンダー
		卓上カレンダー
		手書きハガキ
		ポチ袋
		かいわれ栽培セット
		ラベル
		体操
		町内企業からの委託の軽作業
		他部門との合同作業
		畠作業

売上目標	食物	¥500, 000	
	内職	¥147, 800	内訳
		ハガキ	¥40×240 ¥9, 600
		カレンダー	¥1, 000×70 ¥70, 000
		かいわれ	¥150×60 ¥9, 000
		ポチ袋	¥20×120 ¥2, 400
		ポストカード	¥70×240 ¥16, 800
		¥647, 800	¥147, 800

予算	食物	原材料費・包材費・仕入代	¥300, 000
	内職	原材料費・包材費	¥20, 000

人件費
¥816, 000
(@85×5 時間×5 日×4 週×12か月×8名)

売上向上の為に

- 行楽シーズンの道の駅・不思議屋対策
- 販売店の更なる新規開拓
- 販売科との連携
- 町内行事への出店

より良い作業環境の為に

- 道具・工具の整備、工夫
- 自治会議での成果発表など成果が実感できる配慮
- 身体能力にあわせた作業手順の見直し

平成26年度石けん部門事業計画(案)

担当職員:道券 直美

《目標》

石けん作りの作業を通して、地域との交流を図り、貢献の喜びを分かち合う。

具体的施策

売上向上のために	①販売店の新規開拓	町内・飛び込みや紹介などで増やしていく 町外・販売会で積極的に他事業所とつながりを作ることで増やす
	②石けんの良さを伝える (新規ユーザーの開拓)	試供品の頒布の機会を増やす 使い方ガイドの見直しで使い方の案内 販売会での実演販売による汚れ落ちの実感の提供 てつなぎHPなどでの情報発信 石けん作り見学受け入れなどで地域との交流を図る。
	③売り方の工夫	買って楽しいデザインへの包装の変更 買って楽しい売り方の工夫(量り売り、詰め放題など) 付加価値をつけて価格の見直しを図る
	④ユーザーとのつながりの強化 (顧客管理の徹底)	感想のフィードバックの募集(納品時、HP掲示板などで) ユーザーへの情報発信(使い方のお知らせ、作業の様子など)
品質向上のために	①ロスの管理	ロス(ハネ)の再利用(お徳用パックの発売) データの集積(作成状況の記録、ロスの割合の把握) 道具の改良、工程の見直しによるロス発生の防止
	②研修、見学の実施	石けん作り勉強会の開催 図書館などの利用による勉強の機会を増やす
中長期的視野で	①事務スキルの向上	パソコンの基本的技術の習得 文字の練習など、帳簿作成の基礎を学ぶ
	②雑貨石けんの開発	600円から900円程度の値段帯の商品の開発による収益アップ

26年度売上目標 84,000円(7,000円×12か月)

《予算》

原材料費 100,000

包材費 7000

開発費 5000

予備費 5000

人件費 126,000 (工賃時給105円、一日勤務時間5時間、週5日、12か月の計算)

計 243,000